



TOCOM

2022

2月号

トヨタサークル 手をつないで明日をつくろう

No. 489

「光」のオリンピック開会式

株式会社トヨタテック

代表取締役副社長 小野 理



2月4日に昨年の東京の記憶もまだ残るなか、北京冬期オリンピックが開会されました。この社内報が皆さんに届く頃には選手の素晴らしい活躍があり、幕を下ろしていることと思います。今回の開会式は2008年の北京の開会式と同じ張芸謀氏の演出によるもので、コロナ禍での大会で華美にならず、また近年世情から環境にも配慮した内容というコンセプトがあったそうです。そこには私たちの仕事で身近な「光」を使った先端技術が大きく寄与していました。1万平米以上の会場一面にLEDディスプレイを敷き詰め「鳥の巣」を表現し、超大型ディスプレイ上を舞台にして開会式を行う奇抜な演出は、北京のBOE製の8K解像のディスプレイを1枚1枚同期させ、演技者の動作も検知して画像と同調させていたそうです。色彩やコントラスト、立体感だけでなく、従来のプロジェクションマッピングの欠点である輝度や影の障害もなく大変素晴らしいものでした。私は随分前に、リアプロジェクターテレビが大型液晶テレビになり、業務用プロジェクターが大型LEDスクリーンに変わった時代の体験を思い出しました。雪の結晶の聖火モニュメントも異形の両面ディスプレイと遠距離高速無線技術によって瞬時に画像を切り替えていたそうです。まさに現在の中国の技術を使った「光」を駆使した開会式でした。さて次のオリンピックではどんな開会式が見られるのでしょうか？私たちはVRグラスで観ているかもしれませんね。

一方、未だコロナ禍の不自由な生活と業務形態をお願いする状況が続いています。特に家庭内における消毒、手洗い、うがい、食事の方法などが重要になっています。改めて、今暫くの留意をお願いします。

2021年度も残すところ1カ月となりました。中国工場も春節後の業務が再開し、いよいよ最後の追込みの時期になっています。本年度も一昨年前からの大きな変化と制約の多い年でした。数字では表せないご苦労や努力、



北京オリンピック開会式

やり残した内容もあろうかと思えます。3月は本年度の計画と実績を精査し、次年度に向けて組織と個人の新しい計画と目標を設定する重要な月になっています。引き続き不透明な状況もあり変化も予測されますが、受け身にならず「果敢」に前に進む施策を計画したいものです。本年度以上の成果とともに数年後の会社の姿がさらに鮮明になる一年になる様宜しくお願い致します。

TOCOM

TOYO CIRCLE COMMUNITY MANAGEMENT

2022年度 中国工厂会社操業カレンダー 年历 (2022年4月1日~2023年3月31日)

月度	日 程																															備考
4 ⁽²¹⁾	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	※清明节
5 ⁽²⁰⁾	※1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	※劳动节
6 ⁽²¹⁾	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	※端午节	
7 ⁽²¹⁾	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
8 ⁽²³⁾	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
9 ⁽²¹⁾	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	※中秋节	
10 ⁽¹⁸⁾	※1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	※国庆节
11 ⁽²²⁾	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
12 ⁽²²⁾	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
2023 1 ⁽¹⁵⁾	※1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	※1元旦 ※2春節
2 ⁽²²⁾	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28				
3 ⁽²⁴⁾	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	

工作日250 休息日115

Factory Automation

工場作業の自動化推進

自社製「ロボット検査整列機」を導入

株式会社トヨテック及びトヨーサークル企業は以前より生産性の改善、品質改善を目的とする工場作業の自動化を進めてきました。

一方で社会では働き方改革や人手不足、コロナウイルス感染拡大等の影響で自動化の必要性が急激に増してきており、この状況を踏まえて社内でも自動化を専門とするPL技術部門生産技術部を新たに立ち上げるなど、自動化推進への取り組みが加速されました。そしてこの度、当グループの設計による「ロボット検査整列機」が完成し、射出成形後の作業工程の自動化を実現しました。

この機械は、多関節ロボット、スカラロボット、パーツフィーダー、画像検査装置等を用いて、射出成形後に製品のゲートカットをはじめ外観検査やクリップ挿入、梱包作業までの一連の作業を全自動で行います。

現在は、大分工場と一宮工場で導入され大きな成果を上げています。



一宮工場 2022年1月より稼働開始



大分工場 2021年6月より稼働開始

Group Report

Member



(左から) 武田孝幸さん、山口尚志さん、田中俊輔さん

工場と一緒に最適な自動化設備を目指して

PL 技術部門生産技術部 副部長 / 生産技術グループリーダー
山口 尚志

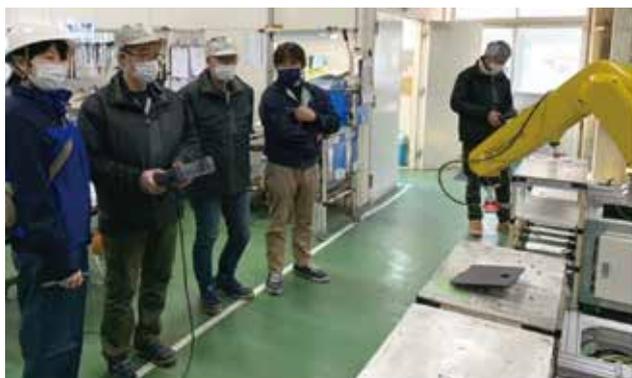
今年度、苦勞しながらも自動化設備を導入することが出来ました。各工場のご協力に感謝しております。内製化の設備は、ゼロから自分達で作ります。それにより、その自動化設備をより使い易いように改造することが比較的容易です。それは工場側と一緒に技術力を向上する為には、とても重要だと考え進めています。いまは、AI・画像処理・BIGDATA を活用する時代です。失敗を恐れず、メンバー全員これからも日々勉強し、頑張っています。

大分工場

産業ロボット安全教育を実施

大分工場は、2022年1月15日(土)～16日(日)の2日間にかけて外部講師を招き、*産業ロボットの安全教育を実施しました。講義には製造グループリーダーの阿南貴博さんをはじめ、5名が参加しました。

※産業ロボットの使用は労働安全衛生規則第36条に規定された安全教育が必要とされています。





春節とは、中国・中華圏における旧暦の正月(旧正月)です。全世界の華人にとって最も伝統的な祝日です。2022年の春節は2月1日となり、トーヨーサークル香港・中国地区の社員においても1月28日(金)～2月9日(水)までの大型連休となりました。



身近に触れた春節について紹介します！

レポーター 大島 政貴 さん



Profile

東洋豊技(香港)有限公司に赴任して6ヵ月。現在、総経理付として3工場に関わる総務、法務業務に従事。趣味は、茶ソムリエ、茶藝師、シノワズリ(唐物・陶磁器)。

1月31日 大晦日「除夕」

人々は、「除夕」の電子カードをSNS上で送付し合ったり、年末の買い出しや掃除をして春節初日を迎える準備をします。

日本のNHK「紅白歌合戦」に当たるような娯楽番組「春節晩会」を見ながら、家族が実家に集結しご馳走を頂きます。

家族団欒の時間は大晦日に欠かせません。



2月1日 元旦



広東省では、朝に団子を頂く習慣があります。黒砂糖ベースの甘酒スープに糯米粉で作った手作り団子を入れてあります。



各家や建屋の玄関脇で小粒のみかんが実った植木をよく見かけます。「大吉大利」を表すそうです。このみかんを玄関に飾ることで、「大きな実りが入ってくるように!」と願っています。このみかん、酸っぱいので食べませんが、時より近くによってきた子供はつまむようです(笑)。春節ならではの微笑ましい光景の一つです。広東人であれば、この枝にお年玉袋「红包」を掛ける人が多く、大吉を願うそうです。



おくやみ申し上げます

発行所
トーヨーサークル TOCOM 事務局
豊川市西豊町二丁目35番地
☎ <0533> 85-1110 (代)